



### 第33号

発行  
 児童養護施設 晴香園  
 〒270-0011 千葉県松戸市根木内145  
 電話 047(345)2722  
 FAX 047(309)8807  
 E-mail: info@s-haruka.org



## 晴香園の

## 15年



今年春の訪れが早く、立ちの会の頃には既に早咲きの桜が開き、2名の卒園生が無事旅立っていきました。晴香園が創設されてから15年がたち、入所した子どもは百名を超え、高校を卒業して卒園した子ども等は19名、途中退所した子どもは40名以上となります。

今年の後援会により、初の「卒園生の集い」を開催して

いただき、平成28年度までの卒園生17名中10名が参加し、元気な顔を見せてくれました。当日は参加できなくても、久しぶりに電話をしてきて近況を報せてくれた卒園生もいました。15年が経ち晴香園の歴史が紡がれていることを感じさせられた催しでした。

これまでの晴香園の大きな目標の一つは「学ぶ力を高める」ことです。子どもは生まれ

きたときから外界のあらゆることを学んで成長していきま

す。その蓄積が社会人となつてからの更なる成長の礎となります。そして、子ども自身は学ぶことにたいして大きな意欲を持っています。その意欲に応え、伸ばせる環境を作ることが大人に課せられた使命です。学習については様々な学習の場を試みてきました

が、現在、協力してくださる学習塾と、継続してご協力頂いている学習ボランティアの皆様のおかげで、概ね安定的な学習の場が確保できるようになり、子どもたちのわかる喜び、知る楽しさを感じている姿が見てとれます。

また卒園児の進学希望を叶えようと、大学、専門学校に進学希望がある子どもには、入学金、授業料等の費用

を後援会により無償援助して頂いてきたことにより、8名の子どもが大学や専門学校に進学することができました。これは高校生以下の子どもたちにとっても学びへの意欲を断たないという大きな意味を持つてきました。

子どもは大人の理解を超えていきます。経験則に頼ることなく、子どもたちの提起してくる問題を真摯に受け止めて、晴香園自体もさらなる成長をめざします。

### 退任のご挨拶

箱田 久美子

8年間、晴香園施設長を務めてきた箱田は平成29年度末で退職いたします。人の温かさや人に支えられる有り難さを感じられた8年間で、子どもたちのエネルギーに励まされた日々でした。支えてくださった皆様への感謝は言葉では尽くせません。ありがとうございました。

今後は引き続き専務理事として法人に貢献すべく努力して参ります。晴香園共々、今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 夢への架け橋 ～旅立ちの会～

平成30年3月10日(土)に旅立ちの会が行われ、同学年4名の男児のうち2名の男児が旅立ちました。



## 卒園生の旅立ちの言葉

僕が晴香園に来たのは、3歳の時です。最初はあまり人がいなかったの、寂しさもありましたが、だんだん慣れていくうちに楽しくなっていました。

中学校では、柔道部に入ると部長としてみんなで初めて県大会に行くことができました。また職員の支えもあり、皆勤賞をとることができました。その年の12月にはミラコスタに連れて行ってもらい、初めてディズニースーで夕食を食べるといふ貴重な経験をさせていただきました。

高校生になって、中学から続けていた柔道部に入りました。高校での目標は県大会団体ベスト16に入ることでした。部活に行きたくない時に支えてくれた職員のおかげで、最後の大会でベスト16に入ることができました。また、高校では勉強が難しくなり、テストが近づくといろいろな職員が教えてくれたのを覚えています。

ます。そのおかげで無事に卒業することができました。

15年間晴香園で過ごした日々は長いようで短い時間でした。グラウンドでみんなとサッカーやバスケットをするのができなくなると思うと少し寂しく感じます。

私は、晴香園を卒園してからは、就職するため一人暮らしをします。今まではホームのみんなと楽しく過ごしていましたが、もうみんながいなくとも寂しいし、心細いです。しかし、これからは晴香園で培った事にかけて頑張ります。晴香園で生活することができて本当に良かったです。また、後援会の皆さんには普段できないような貴重な体験をさせていただき、たくさんの援助をして下さり本当に感謝しています。ありがとうございました。私はこれから友人を始め様々な人に支えられながら頑張っていこうと思いますので、皆さんも頑張ってください。

W・K

### 在園生から贈る言葉

● W・Kくんへ

卒業と卒園おめでとう。長い間一緒に居たので、Kの短所も長所も見つけました。短所は、「気が短い」「メリハリがない」ところです。これから出る社会は困難や苦勞もたくさんあると思います。気が短いところは、少し立ち止まって、落ち着いて考えてみれば少しずつ改善できると思います。メリハリは、自分が社会に貢献する一人であるという自覚を持つてばおのずとできるようなると思います。長所は、「誰とでも仲良くできる」ところです。生活している中ですごいなと思うことが幾度もありました。この先大変なことがあっても、その長所を生かして、乗り越えることができると思います。自分もKと同じ年で卒園するはずなのですが、もう少し園で経験を積み、様々なことを学んでから園を出ようと思っています。「一人立ち」などという言葉が使われませんが、一人でやっていける人な



なんて正直いらないから。いつでも園に帰ってきたり、自分に頼って下さい。最後に就職おめでとう。

●S・Hくんへ

卒園おめでとう。お互い目指す将来に進めるよう努力しようね。話すことは少なくとも職員に「H元気にしてる?」などと少し心配になって聞くこともありました。正直心配で仕方がありませんが、私以上に日本人の方が不安でいっぱいだと思います。困ったなーとか、不安だなーとかあったら、いつでも遠慮なく園に顔を出して下さい。心優しくして頼もしい職員Mさんを始め、みんなが成長したHを心待ちにしてるから。

Hの持ち前の笑顔を忘れずにこれからも日々努力して頑張ってるね。応援しています。

### 社会福祉法人晴香

#### 主催講演会

「子どもの貧困とは

どういうことか?」

ご参加ありがとうございました

ございました。

平成30年2月25日(日)、千葉

西総合病院講堂にて、社会活動家である湯浅誠氏を講師に迎えて、晴香主催講演会を開催しました。松戸市、松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会にご後援頂きました。300名を超える方々がお越しください、盛況の内に終わることができました。

子どもの貧困は隠れていて見えにくいこと、貧困は人の繋がりや体験機会を奪うこと、赤信号になる前の黄色信号のうちに配慮が必要なことを察知し、子どもの社会を開きたくないようにすることが必要なこと、そのために地域の人間関係を作っていくことが大切であり、特別なことではなく、声を掛けるだけのいだけ支援でも良いことなど、とてもわかりやすくお話し

ございました。

参加された方々からも素晴らしいお話だったとの声を多数頂きました。

これからも、広く子どもたちを見守り、支える機運を地域に広げていきたいと思えます。ご参加された皆様、ありがとうございました。



講演会

### 第一回

#### 「卒園生の集い」を開催

平成30年2月24日(土)、後援会主催により、晴香園初の「卒園生の集い」を開催しました。卒園生17名中、10名が参加し、近況報告などをしてくれました。就職したときの仕事を継続している人、転職した人、



卒園生集合!

子育て真っ最中の人、学校で勉強中の人など、それぞれ自分の道を歩いている姿がとても頼もしく見えたものです。後援会役員と職員とで、なかなかに食事を取りながら、昔話に花が咲きました。

活動場所は違ってても、緩やかな繋がりがそれぞれの安心材料の一つになってくれるよう願います。

### 祝！成人

平成30年1月8日(月)に成人を迎えた4人の卒園生のお祝いをしました。卒園して2年がたち、仕事や学生生活の近況報告がなされ、それぞれが頑張っている様子が伺えました。

新たな気持ちで成人として大人への第一歩を歩み始めた卒園生に、後援会から温かいエールが贈られました。



成人を迎えた卒園生

晴香園のクラブ等  
1年間の活動報告

★卓球クラブ

月に2回の練習を行ない個人レッスンの他、チームで試合を行なって実戦での力を付けていきます。

夏には千児協主催の千葉県内児童養護施設対抗の卓球大会に出場し、今年度は男子団体で3位になり、優秀な成績を収めました。

子ども達自身も向上心を持ちレッスンに取り組む姿勢が見られています。自分の癖や苦手な事を克服しようと一生懸命卓球に向き合い、スキルを磨き成長している姿は頼もしい限りです。



★マウンテンクラブ

日本山岳会千葉支部のご指導のもとに活動しているマウンテンクラブです。今年度は3名の新メンバーも加わり、7名のメンバーで始まりまし

た。高校生は学校の行事等で参加することが難しかったですが、小中学生を中心に2回の山小屋宿泊を含め、6回山登りを行いました。

山岳会の方より山に関する豆知識を教えてもらう際には子どもたちも真剣に聞きいつており、次はどんな話が聞けるのだろうか楽しみになっている様子がありました。

山小屋提供者のご協力で行っている2回の山小屋体験では、暖炉を目の前にみながら夕飯を作り、魚釣りをしたとれたての魚の美味しさを味わい、キャンプファイヤーにみんな協力して火起こしをしたりと、とても充実した時間を過ごす事ができました。



★自転車クラブ

昨年度と同じメンバーでのスタートとなりましたが、中学生メンバーの部活動等で全員の予定が合わず、年明けの江戸川のサイクリングロードがスタートとなりました。担当職員が子ども達のスピードについて行く事が出来ず、そんな中様子を伺いに戻ってくる姿や「頑張れー」と声を掛けてくれる姿などとても優しい一面が見られました。

2回目は手賀沼フィッシングセンターに行きニジマス釣りを楽しみました。最初は魚を触ることすら嫌がっていましたが、5分も経てば自分たちで釣針を外すことが出来ていました。3月の中旬には国営昭和記念公園を予定しています。

活動回数は少なくなりましたが、クラブ員同士



で励まし合い、相互に声をかけあって交通に気を付けることも出来ました。みんなで自転車で目的地を目指し走る楽しさや気持ち良さは格別でした。

★みらいの森の体験活動

NPOみらいの森が計画する、アウトドアプログラムに小学生と高校生が他施設の子どもたちと一緒に年間を通して参加しました。

ラフティングやウッドクラフト、ハイキングなど自然に囲まれた遊びや、宿泊を含むキャンプに参加しています。

みらいの森は、英語キャンプとしても実施されており、外国人の方から簡単な英語を学んだり、他国の人とのふれあいや文化を知り、普段出来ない経験を得ることが出来ました。



ウインターキャンプ

新規会員ご入会 継続会員費納入  
ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。

お名前前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡を頂きたくお願い申し上げます。

(今号では、平成29年11月1日から平成30年2月28日までに、ご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます。)

(敬称略・順不同)

【新規会員】

(株)ピーシコム 立花流輝生會

藤原 房子 板垣 公毅

【継続会員】

小野口 利子 (株)チセン

(株)ユーライフ H I C (株)

浅井 利明 石上 俊一

石川 琢哉 伊原 泰子

岩崎電気管理サービス

上田 茂 梅本 真行

大尾 敏博 岡野 照

小川 剛 小川 早苗

小川 千恵子 落合 有希

加藤 康成 金子 公子

(株)J V (株)仲亀

(株)ミニマル (株)吉野建材

(株)ライズ (株)六歌撰

荻部 寿美

カワノ ハヤト 木元 淳平

小堺 重保 小嶋 祐司

齋藤 成美 齋藤 祐子

齋藤 竜年 佐々木 雅子

猿渡 英明 鈴木 利枝

鈴木 尚子 鈴木 由美子

竹中 加津枝 田中 里奈

段下 裕貴 津久井 日出子

土屋 供生 中原 雅子

西内 弘美 縫部 鐵次郎

根岸 正国 福田 眞

藤田 亜子 墳崎 敏之

細谷 茂美 松戸友の会

松戸ゆいねっと 柳沼 希博

山田 英明 (有)シヨセ

渡辺 雅子 森 勇樹

若松 雅子

「晴香まなび基金」へのご寄付  
ありがとうございます

石山 智 金子 公子

佐々木 雅子 セキネトオル

関原事務所 ソヤタカキ

タカムラ マナブ 野呂 和子

野呂 佐知子 ハシモトヒサオ

藤田 亜子 松原 由美子

三石 治子 ヤマグチコウスケ

(有) Trainers (有) KIN

(有) BE FIRST 豊田 明

高橋 雅子 黒田 静江

心温まるご厚志  
ありがとうございます

(株)アスタイム (株)夢見

(株)日本教文社 (株)ブルボン

日本鏡餅組合 (株)プレナス

第一生命保険 (株)紀文食品

セカンド・ハーベスト・ジャパン

松戸遊技業防犯組合

山崎製パン松戸工場

従業員組合松戸支部

マブチモーター(株)

(株)ビルダー・ジャパン

チュチュエンナ

聖光ケ丘病院

「ほっともつと」

エムトレディング(株)

全国シヤンメリー協同組合

キコーナ松戸店

マルハン松飛台店

ピーポケット

フィリップモリス

毎日新聞東京社会事業団

アゼリー江戸川ケアセンター

(株)シユテルン葛飾

千葉西総合病院

イガラシスポーツ

(株)M・Strata

日本出版販売労働組合

特定非営利活動法人

次代の創造工房

(有)ナイナーズ サトコちゃん

根本内中学校教員の皆様

Mico Poomosamy・Jaya

日向 恵子 武井 功一

恩田 晃江 竹内 絹子

竹中 秀一 工藤 幸二

我妻 美根子 小倉 まゆり

藤竹 晶子 中山 誠一

原 基美雄 椎名 美智子

藤原 房子 中村 康子

安藤 榎本

斉藤 匿名

エヌ・ハウジング

御陣屋太鼓を守る会

貴園と同じ名を持つ子の母

第一生命労働組合 柏常総支部

高木地区民生児童委員児童部会

誠建クリエート(株)

オフィシャルパートナー

日本競輪選手会 野口 裕史

誠建クリエート株式会社 宮本 義勝

松戸主任児童委員連絡協議会

松戸中央自動車学校 洪谷 八江子

山野辺建設

上屋 潤 齋藤 義雄

酒井 節子 鳥根 明

竹内 絹子 永田 三一

樋口 晴彦 松井 秀文

三原 立子

カワノ ハヤト

ワタナベ マサト

ボランティアのご協力  
ありがとうございます

○学習ボランティア

柴田 和子 田中 里奈

小林 由美子 青柳 陽子

猿渡 英明 井手 慶子

林 洋子 NoelCurry

○遊びボランティア

松田 瑞樹

○保育ボランティア

鈴木 雪子

○読み聞かせボランティア

口地 美恵子 深山 喜子

高橋 千尋 湯本 佳子

○ピアノボランティア

石井 美和

○花ボランティア

N P O 法人 Imagine

副理事長 山下 緋沙子

松戸更生保護女性会

○家事援助ボランティア

安川 路子

○幼児リトミックボランティア

黒田 静江

○清掃ボランティア

豎山 景子 (株)J V

○誕生日ケーキプレゼント

オペラ座

# 子どもたちと 後援会員との 交流会のお知らせ

お食事をしながら、子どもたちと楽しい親睦タイムを企画しています。  
皆様、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

**日時:平成30年5月6日(日) 11:30~13:30**

**会場:ロイヤルガーデンパレス 柏 日本閣**

(旧名 ナプシャルズ南柏) TEL:04-7146-2222

参加費:後援会員2,000円

内容:晴香園の子どもたちと会食しながら、シンガーソングライターの  
すてきな歌をお楽しみいただきます。着席スタイルで行います。

## ご出席のご連絡のお願い

交流会にご参加いただける方は、  
事前に下記までご連絡をお願いいたします。  
申込期限:平成30年4月20日(金)  
電話:047-345-2722



### まなび基金へのご寄付について

千葉銀行 小金原支店(042)  
口座番号 普通 3580945  
口座名 晴香園後援会 晴香まなび基金

### 後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上  
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行 新宿西口支店  
口座番号 普通 4645936  
口座名 社会福祉法人 晴香 晴香園後援会  
もしくは

ゆうちょ銀行 口座記号と口座番号 00120-4-356622  
加入者名 晴香園後援会

※寄付金に関する詳細は、  
下記にお問い合わせください。  
〒270-0011  
千葉県松戸市根木内145  
社会福祉法人 晴香  
TEL.047-345-2722  
FAX.047-309-8807  
E-Mail:info@s-haruka.org

## 編集後記

日々の寒暖差が激しい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。子ども達は天候にも負けず元気に学校へ通っています。気づいたら晴香園で働き始めて1年が過ぎました。最初は何気ない会話から始まった子ども達とのコミュニケーションも、月日を重ねることにより相談事を口にしてくれたりと濃いものとなって、自分自身支援者らしくなってきたと感じています。来年度も、自分らしさを忘れず、子どもと喜怒哀楽を共感できる職員を目指し頑張っていきたいです。

私事ですが、目標を決めることで素敵な1年が開かれるという話を耳にしたので「絞る・楽しむ・挑む」の3つの目標を立て、ジムへ通うことを子ども達へ宣言しました。早速、有言実行すべく1月から通い始めました。自分の言ったことには責任を持つ事を身をもって子ども達に教えていきたいと思えます。

広報担当 辻・大塚

